

スマートフォン・インターネットを安全に使うために

いまや、小学生からスマートフォンやインターネットを使う時代。便利で楽しいツールである半面、思わぬトラブルに巻き込まれることもあります。子どもたちが安全にスマートフォンやインターネットを使うために役立つ本をご紹介します。



GIGA スクール時代のネットリテラシー 2：SNSとネットトラブル

遠藤美季監修／ポプラ社／2023.4

小中学校でも、タブレットやインターネットを使う授業が増えている今、それらを正しく活用するための知識が重要です。「これくらいなら大丈夫？」と、ついやってしまいそうな具体的な事例とともにインターネットやSNSの基本的な知識を学べます。

こどもスマホルール：賢く使って、トラブル回避！

竹内和雄著／時事通信出版局／2022.4

NEW

クイズでわかる小学生からのネットのルール

鈴木朋子監修、クイズ製作 クイズ法人カプリティオ、主婦の友社編／主婦の友社／2021.1

13歳からの「ネットのルール」：誰も傷つけないためのスマホリテラシーを身につける本

小木曾健監修／メイツユニバーサルコンテンツ／2020.11



MIWビデオサロン上映予定

MIWでは所蔵する映像作品を上映するビデオサロンを開催します。



12月20日(金)

「ジュディ 虹の彼方に」

監督 ルパード・ゲールド
2019年／118分／イギリス
ミュージカル俳優ジュディ・ガーランドの人生

© Pathé Productions Limited And British Broadcasting Corporation 2019



2月21日(金)

「アレクサンドリア」

監督 アレハンドロ・アメナーバル
2009年／127分／スペイン
4世紀に実在した女性天文学者の伝記映画

©2009 MOD Producciones,S.L.ALL Rights Reserved.

いずれの日程も 14:30～、18:30～に上映を開始いたします。上映後には、感想を語りあう交流会を開きます。事前申込みは不要です。ぜひ、ご参加ください。

千代田区男女共同参画センターMIW(ミュウ)

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所10階

電話:03-5211-8845 FAX:03-5211-8846

Eメール:miw@city.chiyoda.tokyo.jp <https://miw.city.chiyoda.lg.jp/>

Instagram:chiyoda.miw Facebook:@chiyoda.miw

開館時間／月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00 日曜・祝日休館

ホームページ

メルマガ登録



ライブラリニュース みゆう

2024年12月 104号

千代田区
男女共同参画センター

MIW(ミュウ)



MIW マスコットキャラクター
みゆうじろう

人権について考える本

毎年12月4日から10日は、人権について考える取組みが全国各地で行われる人権週間です。最終日の12月10日は国連が定める世界人権デーです。人種差別や女性、障害者に対する偏見など、さまざまな人権に関する問題について、考えてみませんか。

NEW

いま君のいる場所だけが、世界のすべてじゃない

副島淳著／潮出版社／2022.7



日本人の母親とアフリカ系アメリカ人の父をもつ著者が、いじめや人種差別、家庭環境について、子どもの頃からの人生を語るとともに、現在の思いを綴る。

NEW

地下鉄で隣に黒人が座ったら：イエロンの漫画日記

イエロン著／かもがわ出版／2024.2



韓国人の著者が、ガーナ出身のマーニに出会い、ともに過ごす中で受けてきたさまざまな「差別」の実例を、分かりやすい言葉とイラストで伝えるコミックエッセイ。

みんなで平等をつくる：わたしたちの声がとどけば、世界はきっとかわるよ

シャノン・ウェバー文、ジェイド・オーランド絵／亜紀書房／2022.2

マイクロアグレッションを吹っ飛ばせ：やさしく学ぶ人権の話

渡辺雅之著／高文研／2021.11

きみはどう考える？人権ってなんだろう 3

：性別や国籍で差別しない・されない みとめよう、それぞれの違い

喜多明人監修／汐文社／2021.3

世界人権宣言：ビジュアル版

シェーナ出版社編／創元社／2018.12





ワーク・ライフ・バランス



仕事や育児と両立できる共倒れしない介護:1000人の「そこが知りたい!」を集めました

室津瞳、増田裕子
監修
オレンジページ
2024.2

【MIWスタッフレコメンド】

現在、晩婚化に伴う出産年齢の上昇もあり、育児と介護を同時に担う「ダブルケア」状態の人が増えている。親の介護に直面する前に知っておきたい基礎的な知識や、親に確認しておきたいことなど、ダブルケアを乗り越える準備に必要な情報を紹介。仕事や育児をしながら介護する生活に困っている人の情報収集や、漠然とした不安を抱える人たちの準備にも、助けになる一冊。

マンガでわかる仕事と子育ての両立の壁にぶち当たった30代共働き夫婦が「キャリアデザイン」に本気で取り組んだら…

江口勝彦著、米田錦マンガ／
ディスクヴァービジネスパブリッシング／2024.5
本書の主人公は共働きの30代夫婦。仕事と子育て、どちらも諦めないためにはどう働いたらいいのか、どんな人生を送りたいのかを改めて考える。これからの生き方・働き方を考える夫婦の物語を一例とし、キャリアデザインの描き方を解説する。

からまる毎日のほぐし方

尾石晴著／扶桑社／2024.9
30代半ばから様々な問題が複雑にからまり、どうしていいかわからなくなった時、どうやってその「からまる」問題をほぐしていったのか。仕事、お金、子育て、人付き合い、これからの人生…、さまざまな「からまり」をほぐすヒントが詰まったエッセイ。

文学



翻訳をジェンダーする
古川弘子著
筑摩書房
2024.9

【MIWスタッフレコメンド】

翻訳小説に登場する少女や女性の話し方に違和感をおぼえたことはあるだろうか？日本語への翻訳では、「女らしい話し方」に対する固定観念が小説や映画などさまざまなものに表れていく。これに対し、翻訳の中での女性の存在を「見える化」し、性差別的な表現に立ち向かうべく、本著ではジェンダーの視点から「翻訳すること」について考え、これからの翻訳の在り方を探る。

それを読むたび思い出す

三宅香帆著／青土社／2022.2
読むことは、思い出すことに似ている。何かを読むことで、自分の記憶に結びつき、大切なことを思い出す。言葉を通してそれを教えてくれる存在が、本だった—そう考えた、本を愛する著者が自身の記憶を綴った「地元」「京都」「読書」の三つのテーマからなるエッセイを収録。

恋愛しない私でも『源氏物語』は楽しめますか

西原志保著／春秋社／2024.8
大河ドラマ『光る君へ』で今話題の『源氏物語』。恋愛の物語である印象が強いが、必ずしもそれが全てだとは言いきれない。世界観や登場人物から作者の紫式部まで、「セクシュアリティ」や「アイデンティティ」を探り、『源氏物語』の恋愛だけではない、新たな側面について考える。

恋愛・結婚



#生涯子供なし:なぜ日本は世界一、子供を持たない人が多いのか
福山絵里子著
日経 BP 日本経済新聞出版
2024.5

【MIWスタッフレコメンド】

現在の日本は、生涯にわたって子どもを持たない人が増え続けており、その数値は世界でも突出している。この原因となるものは何なのか。また、この「無子化」が今後どのように影響していくのか。社会福祉や少子化対策といった現代日本の内面に触れつつ、子どもを持たない人の増加について個人の視点から捉え、今後、社会がどうあるべきかについて問いかける。

未婚じゃなくて、非婚です

ホンサムピギョル著／左右社／2024.2
「結婚することは幸せなことなんだ」「結婚しないとみじめな人生になる」こうした偏見に対し、一番大切なのは自分自身の気持ちであり、結婚せずとも自分で幸せを見つける第三の選択肢「非婚」を提示する。著者が自身の経験を踏まえ、結婚主義から非婚の道を歩み始めたきっかけや気持ちの移り変わりを示しつつ、フェミニズムとの関連を見出す。

恋愛を学問する:他者との関わり方を学ぶ

小野寺敦子編著／勁草書房／2024.1
心理学、関係性、文学、メディア、性的マイノリティ…。恋愛は単純ではなく、意外と知らないさまざまな要素が絡んでくる。こうしたものから恋愛の変遷や手段、恋愛がもたらすものなどを考え、多種多様な恋愛について学ぶ。

働き方



生理を、仕事にする。
台湾の生理を変えた女性起業家たち
ムーンパンツ (GoMoond) 編
アジュマ
2024.7

【MIWスタッフレコメンド】

台湾でも長らくタブー視されてきたゆえに、生活必需品にもかかわらずほとんど選択肢のなかった生理用品は、女性の社会的な自立を阻む一因になっていた。2015年に月経カップ、2018年に吸水用ショーツをリリースしたブランド「GoMoond」の歩みを中心に、台湾でのフェムテックや性教育の推進、女性の起業、そしてジェンダー平等に関する取り組みについて紹介する。

シン・働き方:女性活躍の処方箋

稲葉可奈子著／きずな出版／2024.6
「女性ならではの症状や病気のために仕事を休んだり、辞めたり、パフォーマンスが下がったりすることで、社会全体でみると1兆円以上の損失となっている」という認識は、そもそも女性ひとりひとりの損失を無視してはいないだろうか。社会の労働観に潜むジェンダーバイアスを指摘し、女性、ひいては誰もが本当に働きやすい職場環境を考える。

富豪に仕える:華やかな消費世界を支える陰の労働者たち

アリゼ・デルピエール著／新評論／2023.10
今もフランスの富豪に仕える「使用人」たち。多くが移民である彼女・彼らは、雇用主の富豪に感謝し、故郷では考えられなかった経済的成功を語りもする。だが、そうした親密さが覆い隠してしまうものとは何か？雇用・被雇用といった従属関係に分け入り、労働の本質に迫る。